

彙報

一、筑波大学哲学・思想学会会長及び評議員の選出

○平成二十七年四月十八日(土)に開催された第一回評議員会において、互選により、新会長に伊藤益氏が選出された。
○学会規約に基づき、伊藤会長の推薦により、次の三名が会長推薦の評議員に選出された。

久保徹、津崎良典、橋本康二

(五十音順、敬称略)

二、評議員会の開催

平成二十七年四月十八日(土)、第一回評議員会が筑波大学人文・社会学系棟八階会議室において開催された。
○事務局代表に、木村武史氏、千葉建氏が委嘱された。
○平成二十七年年度の活動方針について審議された。

平成二十七年一〇月一〇日(土)、第二回評議員会が筑波大学人文・社会学系棟二階会議室において開催された。

○院生幹事に、小川祐輔、河合一樹、小坂有弘の各氏が委嘱された。

三、第三十六回学術大会の開催

○筑波大学哲学・思想学会第三十六回大会は、平成二十七年一〇月一〇日(土)筑波大学人文・社会学系棟A一階大会議室を会場として開催され、以下の研究発表、公開講演および総会が行われた。

〔研究発表〕

- 1 フランソワ・ノエル『中国哲学三論』第二論文に見られる儒教解釈について

竹中淳

- 2 『漢字三音考』における徂徠派批判

河合一樹

- 3 賢治童話における本生譚

牧野静

- 4 天使の非質料性と可能態としての質料理解

石田隆太

- 5 デイヴィッドソンの反懐疑論論証とはどのようなものか

小川祐輔

- 6 ヴォルフにおける「観念論者」理解とその批判

栗原拓也

- 7 ムスリム墓地取得活動と地域社会

川崎のぞみ

- 8 リアリティを共有する「巡礼者」たち—アニメ「聖地巡礼」の訪問地から—

今井信治

- 9 イエズス会士を仲介とする中国哲学情報のヨーロッパ流入と反響

井川義次

〔公開講演〕

社交と会話の倫理学

京都大学教授 水谷雅彦

〔総念〕

○活動報告 平成二十六年度の活動報告が承認された。

○会計報告 樋口達郎幹事より、別表の通り平成二十六年度会計報告(平成二十六年

四月一日より平成二十七年三月三十一日）がなされ、承認された。

四、編集委員会の開催

『哲学・思想論叢』第三十四号の第一回編集委員会が、六月二四日（水）筑波大学第一エリアC棟二階講義室において開催された。

○第三十四号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が、九月九日（水）筑波大学人文・社会学系棟二階会議室において開催された。

○投稿論文の審査について検討された。

○第三十六回学術大会研究発表者の選考が行われた。

○大会プログラムについて検討された。

第三回編集委員会が、十月十四日（水）に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

五、会員異動

○新入会員 安部隆虎、志村咲紀、志田泰盛、竹中淳、谷翔、披山文香、幕内法忍、マテヤ・ジャビエク

○退会会員 我妻和男（逝去）、斎藤鉄平、佐藤恒

○終身会員 塩尻和子

（五十音順、敬称略）

（平成二十八年二月十八日 樋口達郎記）

『哲学・思想論叢』

第三十四号原稿募集

・原稿締切日

平成二十八年九月一日（木）

・左記論文執筆規定をご参照の上

ご寄稿下さい。

筑波大学哲学・思想学会平成27年度会計報告

（平成26年4月1日～平成27年3月34日）会計担当幹事 吉田真哉

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,229,598	機関誌作成費	309,649
学会費	580,000	通信費	38,110
		アルバイト代	162,000
		大会開催費	186,449
		評議員会開催費	80,920
		次年度繰越金	1,003,140
計	1,809,598	計	1,809,598